

# IMGU北海道統括支部 第9期運動方針骨子

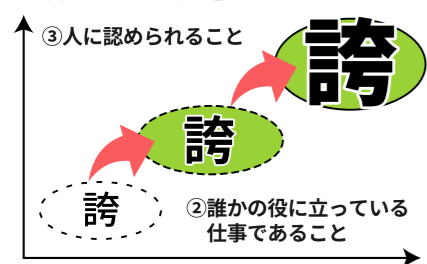
## I.IMGU北海道統括支部ビジョン

### ビジョン～従業員が「誇り」と「自信」を持って働き続ける北海道随一の企業

札幌丸井三越、函館丸井今井、北海道百科のメンバーが、各企業での仕事の「やりがい」を感じ、そこで働く「働く労働条件、環境に満足」と「働くことが出来て良かった」と感じることで、「誇りに思う」という感情を「自信」を持って抱き、働き続ける企業を実現する。

- 実現したい状態**
- ①お客さま、地域社会にとって必要とされるやりがいのある仕事に従事しており、会社全体が目指す姿に向かって前向きに協力し合い、情熱を持って取り組んでいる状態
  - ②労働条件、環境は北海道随一であり、全ての従業員が安心して働き続けられる状態
  - ③従業員と経営、上司と部下、従業員間の対話や交流が十分に図られ、闊達な議論が行われる環境であり、風通しの良い社内風土である状態
  - ④自分自身の成長や自己実現を実感しながら、会社に貢献している状態
  - ⑤社会貢献や地域支援の活動への参画や認識が広まっており、地域社会からも認められている状態

#### ＜実現したい「誇り」イメージ＞



①土台:経済的安定・健康維持・安心安全

#### ＜労働組合として「誇り」を高める活動＞

全ての活動の原点は「VOICE活動」メンバーの声・想いからスタート！

	指標	活動項目	取り組み項目	主な活動
①「誇り」の土台 経済的安定 健康維持 安心安全	経済的安定	1.労働福祉活動	賃金、賞与、人事制度、働く環境整備	労使協議会(春の交渉等)、労使部会(労使過労協議など)
		2.ダイバーシティ推進活動	職場環境整備、健康管理、時間管理	安全衛生委員会、時間管理委員会、ハラスメント防止対策委員会
	健康維持 安心	3.政治政策政治	多様性、安心して働き続けられる環境整備	共済会、育児・介護・疾病等サポート、政策実現活動
		4.経営対策	経営チェック&サポート、戦略浸透、現場課題解決	経営懇話会、職場懇話会
②「誇り」の積み上げ 誰かの役に立っている仕事であること 人に認められること	企業 お客さま 仲間 地域社会 等	5.広報	組合活動共有、福利厚生情報発信	広報誌(新聞、IMGU NEWS)、HPブログ、LINE、Yammer
		6.教育サポート	能力開発、キャリア&ライフ支援	自己啓発支援制度、ユニオンプラン、キャリア&ライフセミナー
	③	7.レクリエーション	一体感醸成、コミュニケーション・コミュニティ活性化	団結会、スポーツレク、オンラインレク、上部団体(UAZ)レク
		8.社会貢献	地域貢献、社会貢献(社会福祉・資源環境保護・災害支援)	地域支援施設サポート、地域スポーツ振興、各種社会貢献活動

## II.第8期活動振り返り

### ●第8期運動方針～テーマ:歩みを止めず前へ、想いをあわせ変革に挑戦

●第8期は、コロナ禍による急激な環境変化を踏まえ、強い危機感を持ちながら、活動の歩みは止めず、難局に立ち向かうメンバーが前を向き、想いをあわせ変革に挑戦するための土台維持・整備を目指して活動を計画しました。特に、この環境下における活動優先順位、活動制約に対して、活動ウエイを見直し、基幹活動である「経営対策・労働福祉・VOICE・現場活動」に注力して取り組みました。

●注力した取り組みでは、支部と本部の連携や労使協議を通じて企業動向を十分に確認しながら、「雇用・労働条件維持」「安心安全確保」へ向けた協議を最優先に進めました。結果として、雇用・労働条件は従業員が難局を乗り越えるために労使一体で維持、対応をしたことや、安心安全はメンバーの声を汲み取りながら、コロナ対応に関わる職場環境改善を進めました。

●新たな活動方法の取り組みでは、職場環境変化も踏まえながら接点充実や意見集約を図る仕組みづくりとして、「新たな現場組合役員体制(評議員・職場委員)、デジタル活用VOICEでの意見集約」の構築、推進を進めました。経営対策・労働福祉活動では、それらを基に各社労使会議(経営懇話会、職場懇話会、安全衛生等)での現場課題共有と改善を進めました。

●その他分野別活動の取り組みでは、各支部・分会結団会等は中止となりましたが、メンバーが繋がることや活動機会提供として、札幌では労使共同の従業員名簿発行やオンライン活用セミナー等の取り組み、函館・百科では各社の特色に合わせ、大人数の集合を伴わずに参加出来る活動等を進めました。また、活動全体の発信や接点拡大を目指して、各デジタルツール活用や発信頻度を拡大し、広報活動における定期情報発信、浸透の体制構築を進めました。

## ●分野別活動の主な振り返り

### ①労働福祉・経営対策活動

現場活動と連携した労働福祉・経営対策活動では、各社年度計画や組織改正後の現場課題、安心安全の職場環境等の意見集約から各社労使会議を通して課題解決に繋げるべく、現場組合役員と定期的にテーマ設定をした意見集約と課題把握、改善提言スキーム構築を進めました。

一方で、現場組合役員全体の参画としての取り組みには課題を残しており、役員全体が意見集約を図る体制、その土台となる意識や行動を高める取り組みを検討していきます。

●注力した取り組みでは、支部と本部の連携や労使協議を通じて企業動向を十分に確認しながら、「雇用・労働条件維持」「安心安全確保」へ向けた協議を最優先に進めました。結果として、雇用・労働条件は従業員が難局を乗り越えるために労使一体で維持、対応をしたことや、安心安全はメンバーの声を汲み取りながら、コロナ対応に関わる職場環境改善を進めました。

### ③広報活動

活動全体の発信や接点拡大を目指して、各デジタルツール活用や発信頻度を拡大、定期情報提供に取り組みました。特に、土台整備として各支部・分会の雇用形態別に抜け漏れなく発信するデジタル、アナログ両方の広報発信整備も進め、書記スタッフと連携した定期情報発信の体制を構築を進めました。

一方で、デジタルツールを活用した発信の浸透度合いや活動全体にわたる発信は不足しており、広報ツールの定着化と活動全体の発信をさらに進めます。

### ②VOICE・現場活動

VOICE活動では、環境変化や新たな現場役員体制を踏まえたVOICEのあり方を再構築して活動を進めました。特に、コロナ環境を踏まえたVOICE開催方法や新たな限定VOICEでは、動画発信を中心として取り組み、通年協議(労働条件に関する協議内容)の進捗は定期発信、意見集約する仕組みをスタートしました。

一方で、動画発信と意見集約は、メンバーへの浸透や意見集約度合いが内容により現定的になっており、今後特に意見交換を必要とする内容については、現場組合役員とのさらなる連携やテーマ別VOICE等も活用した意見集約方法を進めます。また、IMGU意識調査の定点観測は、課題抽出をし労使間共有、活動反映を進めました。次期も本部と連携し、取り組み易さ等の改善を進め実施を検討します。

### ④その他分野別活動(教育サポート活動、社会貢献活動、レク活動等)

教育サポートでは、北海道ではPCスキルアップやマネーセミナー、オンラインツアー等の開催、札幌ではユニオンプランのオンライン開催やSDGSセミナー、百科では道産品を学ぶセミナー等、各支部・分会のメンバー環境やニーズに合わせた新たなセミナー開催に取り組みました。

社会貢献活動では、コロナ環境から訪問交流は叶いませんでしたが、札幌は羊ヶ丘養護園へ園内で楽しむクリスマスイベントの提供、函館は乳児院さゆり園へのクリスマスプレゼント寄贈等を継続して進めました。レクリエーション活動では、分会の特色に合わせて函館で港まつり施策、百科で30周年記念施策等に取り組みました。

## III.第9期運動方針

### 第9期テーマ～想いをあわせ、私たちのありたい未来を創る

#### ●第9期運動方針策定にあたって

##### 環境認識

取り巻く環境を踏まえて、企業は生き残りをかけたビジネスモデル(商売のあり方、経営戦略、業務フローや働き方改革等)の変革を強く迫られています。

前年度までの各社動向は、急激な環境変化に対応するための守りの構造改革が中心でしたが、今年度からの各社動向は、この難局を乗り越えて成長を遂げるべく、新たな「企業ビジョン」を掲げ、実現に向けた取り組みをスタートしました。この「企業ビジョン」とは、「私たちのありたい未来」を創ることであり、メンバー全員が共通認識を持って取り組む必要があります。また、その実現に向けた「年度計画」を着実に成し遂げていく必要があります。

そして、それを成し遂げるためには、企業を形作る「人」の力が重要であり、企業ビジョンの実現に向けた経営戦略を理解し、納得感を高め、一人ひとりの主体的行動と一丸となって取り組む体制をつくり、最大限力を発揮していくことが求められています。

##### 運動方針の考え方

第9期の活動は、取り巻く環境は未だ予断を許さない厳しい状況であることを踏まえた上で、引き続きグループと各社動向は十分確認をしながら、良質な危機感を持ち、私たちが大切に雇用・労働条件の維持に繋げる活動を最優先に取り組みます。一方で、各社が「企業ビジョン」の実現に向かい、スピードを持って取り組み始めた中、労働組合としても「私たちのありたい未来」を創る想いを強く持ち、その具現化に向けた活動に取り組みます。

労働組合の活動は、メンバー自身の活動です。自分たちの企業のあり方、自分たちの労働条件・働く環境は自らの意志と行動で創り上げていこう、ありたい未来を実現していこうという想いや行動が活動の原点であり、その実現に向けたプラットフォームであると考えます。ビジョンの実現、その推進へ、メンバーを代表して意見集約を行い、パイプ役となる組合役員の活動力向上、活動の見え化と接点拡大を図り、メンバー参画を行いながら、第9期活動を進めます。

「私たちのありたい未来」を創るための重点活動として、以下の活動に注力して取り組みます。

- ① 中長期のやりがい、働きがい高める仕組み整備、次の目標となる労働条件等のありたい未来を描く「労働福祉活動」
- ② 雇用・労働条件維持の前提となる企業存続や発展、各社計画の精度向上、現場課題の解決に繋げる「経営対策活動」
- ③ 雇用・労働条件維持の前提となる企業存続や発展、各社計画の精度向上、現場課題の解決に繋げる「経営対策活動」
- ④ メンバーへの活動の見え化と接点拡大を図り、組合活動への参画を推進する「広報活動」

## ●第9期重点活動ポイント

### ①労働福祉活動

今年度の通年協議では、未来に各社で働くことへのやりがい、働きがい高める仕組みとして、経営戦略と連携した人事賃金制度構築、メンバーの中長期にわたるキャリア形成支援制度、働く環境整備を進めます。

各社の取り巻く環境、業績動向や今後の見通しを踏まえ、春の交渉で確認を進めた新たな賞与交渉、考え方を基に労使協議を進めます。各社のこれまでの労働条件交渉の変遷(札幌企業統合10年、函館設立12年、百科組合化8年が経過)や企業ビジョン、メンバーの声や想いを踏まえて、ありたい未来に向けて、目標・夢に出来る中長期に達成する労働条件や働く環境を描き、実現に向けた労使協議を進めます。

### ③VOICE・現場活動

VOICEでは、前期進めた新たなVOICEのあり方を機能、定着させるべく取り組みます。特に限定VOICEは動画発信を中心に、通年協議に関わる内容の定期発信に加え、専門委員会(安全衛生、時間管理、ハラスメント防止対策等)等の活動共有、意見集約の取り組みを進めます。また、テーマ別VOICEは、労働福祉活動におけるありたい未来を描くための意見交換をポイントとして、取り組みを進めます。

現場活動では、パイプ役となる現場組合役員(執行委員、評議員、職場委員)が、それぞれの役割を踏まえた活動推進が出来る仕組みづくり、意見集約・発信力を高めていく上で同じ立場で考えるための情報共有、意識・行動に繋げる土台整備等の取り組みを進めます。

### ②経営対策活動

引き続き、業績動向を踏まえ、雇用・労働条件維持への経営動向のチェックは、本支部が連携を行いながら強化をして取り組みます。また、企業ビジョン実現に向けた経営計画の浸透や、進める中での現場実態を踏まえた課題把握、解決に向けた提言等、変革にチャレンジをする経営サポートに取り組みます。

現場活動と連携した経営対策活動として、前期進めた現場組合役員(執行委員、評議員、職場委員)と連携した意見集約と課題把握、改善提言スキームを定着、発展させながら、経営懇話会や職場懇話会等の取り組みを進めます。

### ④広報活動

メンバーへの活動の見え化、接点充実化、参画推進へ、情報提供・活動報告等を会社デジタルツール(teams、yammar)、組合デジタルツール(LINE、Twitter、HP、動画)をそれぞれ活用しながら、タイムリーかつ定期情報発信の取り組みを継続して進めます。特に重点活動の経営対策、労働福祉、VOICE・現場活動における、動画発信と意見集約を定期、計画的に行う仕組みの定着化を進めます。

## ●その他分野別活動ポイント

### ①教育サポート活動

主体的に能力開発や気づきを得る機会として、自己啓発支援制度の利用拡大の取り組みや、ユニオンプランを提供していきます。また、札幌・函館・百科のメンバーが各企業ビジョンに向かって自己成長に繋げることや、新たな知見を得るセミナー開催をそれぞれ進めます。

### ②レク・社会貢献活動

レクは、環境動向を踏まえながら、前期に取り組みを進めた活動方法に加え、アフターコロナを見据えたメンバーの一体感醸成、コミュニティづくりの機会提供に取り組みます。また、札幌・函館は各社「周年記念」と連動した従業員参加型のイベント開催の検討を進めます。社会貢献は、愛の募金等の定期活動や、札幌・函館支援施設の人的サポート活動、北海道スポーツ振興活動等に継続して取り組みます。

### ③ダイバーシティ推進活動

育児、介護、疾病を中心として、サポート百科や共済会・ベネフィット等の情報発信、制度周知、育児休職者会や介護個別相談会等を通じた、個別対象者の悩みの緩和サポートに継続して取り組みます。

### ④政策政治活動

企業労使間では解決できない「職場課題」を解決するための政策政治活動の推進、メンバー理解促進に向けて、上部団体であるUAゼンセン組織内議員「かわいたかのり」「田村まみ」の活動共有、支持拡大に継続して取り組みます。